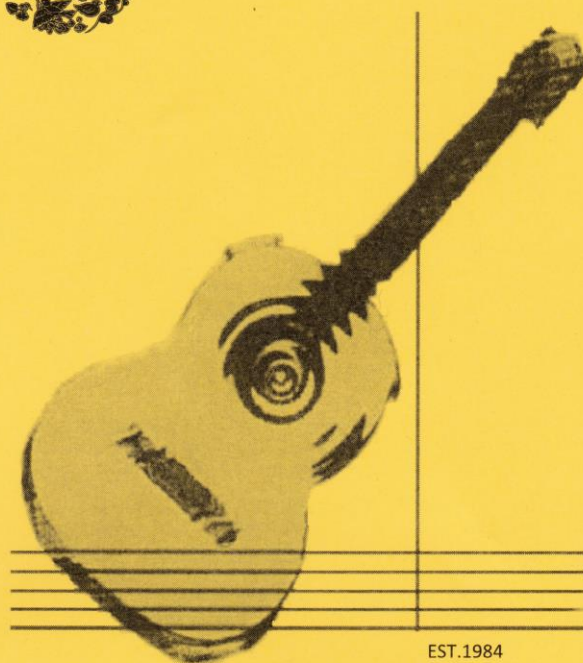


第31回
奈良ギター合奏団

定期演奏会



奈良県大芸術祭参加



2019. 10. 26(土) PM 1:30

ならまちセンター 市民ホール

プログラム

◆…………第一部…………◆

クラシック合奏

指揮・編曲 浜口 輝夫

亡き王女のためのパヴァーヌ

ヴォカリーズ

美しき青きドナウ

ピアノソナタ (トルコ行進曲)

◆…………第二部…………◆

独奏

アラビア風奇想曲 宮田 稔

わが道 浜田 正則

ギターアンサンブル 50's

スカポロー・フェア

ブルー・シャトー

舟 唄

恋のフーガ

バロックアンサンブル

ヴァイオリン協奏曲第1番 1楽章 BWV1041

ジーク風フーガ BWV577

イタリア協奏曲 1楽章 BWV971

◆…………第三部…………◆

ポピュラー合奏

指揮・編曲 小田 良一

ロンドンデリーの歌

スムーズ・クリミナル

バンドラの旅

エル・カスカベル

コーヒー・ルンバ

曲目解説

第一部

♪ 【亡き王女のためのパヴァーヌ】 モーリス・ラヴェル作曲
感傷的な美しい旋律とタイトルから、亡くなった王女を偲んで書かれた曲とってしまうのですが、ラヴェルは「亡くなった王女を追悼する曲」ではなく、「昔、スペインの宮廷で小さな王女が踊ったような曲」と語っています。1899年、パリ音楽院学生時、ルーヴル美術館で見たペラスケス作「マルガリータ王女」の肖像画に触発されて作曲したと言われています。パヴァーヌとは、16世紀のヨーロッパに普及したゆっくりとした行列舞曲名です。

♪ 【ヴォカリーズ】 ラフマニノフ作曲
本来はピアノ伴奏付きの歌曲(1915年作曲)。歌詞が無く母音だけで歌われるのが特徴です。主旋律と対旋律、和音が淡々と流れる、印象深い楽曲です。管弦楽を始め、様々な独奏楽器の編曲版も多く、ラフマニノフの数多い歌曲の中で一番有名な曲です。

♪ 【美しき青きドナウ】 ヨハンシュトラウス二世作曲
プロシアとの戦いに敗れた祖国を元気づけようと、1867年にウィーン男声合唱協会の依頼を受けて書いた作品です。(のちに管弦楽版が作られます)現在では、オーストリアの第2国歌といわれるほど国民に親しまれ、ウィーンフィル ニューイヤーコンサートのアンコールの定番です。イントロ+5つのワルツ+コーダで構成される長い曲ですが、それぞれが聞き覚えのある、楽しい楽曲です。

♪ 【ピアノソナタ】 W. Aモーツァルト作曲
ピアノソナタ第11番 イ長調 K. 331 第三楽章。誰もが耳にしたことのあるポピュラーな曲で、今回のように、この楽章だけ単独に演奏されることも多いです。ピアノでは、速いテンポで演奏されることが多いのですが、ギターでは高度な技術が必要なので、本来のアレグレットの速度で、楽しく(?)演奏したいと思います。全パートに振り分けられた早弾き部分と、トルコの軍楽隊の打楽器の響きを模倣している伴奏部分が聴き所です。

第二部

♪ 【アラビア風奇想曲】 フランシスコ・タレガ作曲
スペインの作曲家でギタリストのF.タレガ(1852~1909)は『近代ギター音楽の父』と呼ばれ、数々の名曲を作曲し、編曲もしています。スペインはイスラム文化の影響が濃く、この曲でも部分的にアラビア音階が、使われていて、どこかオリエンタルな印象があります。

♪ 【わが道】 イサイアス・サビオ作曲
この曲は、ウルグアイ出身のギタリスト兼作曲家(1902~1977)の作品でブラジル民謡をギター用にアレンジしたものです。3つに変奏をつけた曲で、それぞれに特徴を加え表現に変化をつけています。

♪ 【スカボロー・フェア】 イギリス民謡
1967年のダスティン・ホフマン主演の映画『卒業』の挿入歌として用いられた、サイモンとガーファングルの大ヒット曲ですが、元々はイギリスの古くからある民謡です。歌詞はたくさんのバージョンがあるそうです。スカボローは土地の名前で、フェアはマーケット、市のこと。1600年代から続く市で周辺国からも商人が集まりにぎわったそうです。

♪ 【ブルー・シャトール】 作詞・橋本淳 作曲・井上忠夫
1967年(昭和42年)ジャッキー吉川とブルー・コメツのヒット曲グループサウンズの代表曲です。レコード売上150万枚、このグループ最大のヒット曲となり第9回日本レコード大賞を受賞しました。

♪ 【舟唄】 作詞・阿久悠、作曲・浜圭介
1979年(昭和54年)発売の八代亜紀が歌った演歌。
歌い出しは～お酒はめるめの燗がいい～着はあぶったイカでいい～。
中間部分に神奈川県民謡「ダンチヨネ節」の旋律で替え歌が歌われます。
この年のNHK紅白歌合戦で八代が大トリで歌いました。

♪ 【恋のフーガ】 作詞・なかにし礼 作曲・すぎやまこういち
1967年(昭和42年)に発表されたザ・ピーナッツの曲。
歌い出しは～追いかけて～追いかけて～すがりつきたいの～。
「フーガ」という表題がついていますが音楽学でのフーガの形式とは無関係です。
曲の頭で鳴るティンパニーが印象的な曲です。

♪ 【ヴァイオリン協奏曲第1番 1楽章 BWV1041】 J.S.バッハ作曲
曲の冒頭のくさびを打ち込むようなリズムが印象的な曲で、曲中何度も繰り返され
身が引き締まるような空気感を醸し出します。
ソロの旋律は優雅で美しく、上品でいかにも宮廷音楽の雰囲気漂う曲です。

♪ 【ジーク風フーガ BWV577】 J.S.バッハ作曲
オルガンの独奏曲です。スキップするようなジーク風のリズムで終始曲は進みます。
初めに単音で演奏されるフーガの主題が複数の声部に次々に現れ、絡み合いながら
盛り上がっていきます。

♪ 【イタリア協奏曲 1楽章 BWV971】 J.S.バッハ作曲
一般に“協奏曲”といえば、独奏楽器とオーケストラが共演する曲をいいますが、
この曲は協奏曲と銘打ちながらチェンバロ1台で演奏される独奏曲です。
バッハが当時の音楽先進国イタリアの音楽スタイルを導入し、チェンバロ1台で
演奏する“協奏曲”を作曲しました。
本日はギターアンサンブル版として演奏します。

第三部

♪ 【ロンドンデリーの歌】 アイルランド民謡
「ダニーボーイ」という曲名でも知られ世界中で歌われている曲です。
老いたるこの母の胸に おおダニーボーイ
おおダニーボーイ 帰れよ (訳詞 なかにし礼)
なんとも言えない切ないメロディーが心に染みわたります。

♪ 【スムーズ・クリミナル】 マイケル・ジャクソン作曲
マイケル・ジャクソンと言えば「スリラー」ですが、この曲もかなりの人気を
博しました。
ギターでは右指の酷使が限度を超えたかも…。「こんな弾かれへん」
と団員の苦情が殺到。それを乗り越え歯切れ良い演奏を目指します。

♪ 【バンドラの旅】 オリヴィエ・トゥッサン作曲
リチャード・クレイダーマンの代表曲のひとつです。
原題は「ベニスへの旅」ですが、なぜか「バンドラの」と訳されています。
そういや、曲の感じはゴンドラに乗ってベネチアの街並みを巡っている雰囲気かも…
ゆったりとお聴きください。

♪ 【エル・カスカベル】 ロレンソ・パルセラータ作曲
「踊る大捜査線」のオープニングはこの曲をアレンジしたものとか。
最近、アルバム奏者の上松美香さんの編曲・演奏が知られています。
カスカベルは、振るとカラカラ鳴るメキシコの唐辛子の一種です。
騒々しく鳴らしている様子を想像してください。

♪ 【コーヒー・ルンバ】 ホセ・マンソ・ペローニ作曲
ベネズエラで生まれ世界中で大ヒット。日本でも西田佐知子さん歌う
「昔アラブの偉いお坊さんが……」という歌詞が評判になりました。
今また、サービスエリアのコーヒー自販機から流れてくることで、静かなブームに
なっているそうです。ノリノリで演奏します。

<出演者> 五十音順()在団年数

クラシック合奏

指揮	浜口 輝夫	
1st	今井 哲治 (9年)	
	小田 則子 (10年)	
	近藤 達雄 (2年)	
	萩原 俊治 (1年)	
	村上 純子 (4年)	
	山岡 初彦 (22年)	
2nd	岩井 道雄 (34年)	
	川本 秀子 (9年)	
	辻井 百合子 (2年)	
	福村 みどり (8年)	
	南 和子 (11年)	
	渡邊 宜行 (19年)	
3rd	井内 悟 (17年)	
	稲葉 圭司 (7年)	
	葛西 譲 (3年)	
	北尾 美喜子 (31年)	
	寺井 由紀子 (9年)	
	前川 裕美子 (2年)	
4th	大野 明子 (22年)	
	岡本 繁 (1年)	
	浜田 正則 (11年)	
	宮田 稔 (13年)	
	山岡 敦子 (22年)	
	横山 伸幸 (23年)	
Bass	小田 良一 (10年)	
	權谷 友子 (4年)	
	吉村 雅幸 (7年)	
Contrabass	松井 あずさ (9年)	

独 奏

宮田 稔
浜田 正則

ギターアンサンブル 50' s

井内 悟 ・ 岩井 道雄 ・ 大野 明子
川本 秀子 ・ 寺井 由紀 ・ 宮田 稔
横山 伸幸 ・ 渡邊 宜行
松井 あずさ (Contrabass)
山岡 敦子 (Percussion)

バロックアンサンブル

井内 悟 ・ 小田 則子
 小田 良一 ・ 北尾 美喜子
 浜口 輝夫 ・ 福村 みどり
 南 和子 ・ 村上 純子
 渡邊 直行

ポピュラー合奏

指揮	小田 良一	
1st	井内 悟 (17年) 稲葉 圭司 (7年) 岩井 道雄 (34年) 川本 秀子 (9年) 南 和子 (11年) 山岡 初彦 (22年)	
2nd	大野 明子 (22年) 辻井 百合子 (2年) 福村 みどり (8年) 前川 裕美子 (2年) 横山 伸幸 (23年) 吉村 雅幸 (7年)	
3rd	今井 哲治 (9年) 北尾 美喜子 (31年) 近藤 達雄 (2年) 萩原 俊治 (1年) 浜田 正則 (11年) 山岡 敦子 (22年)	
4th	岡本 繁 (1年) 小田 則子 (10年) 葛西 譲 (3年) 寺井 由紀子 (9年) 宮田 稔 (13年) 村上 純子 (4年) 渡邊 直行 (19年)	
Bass	權谷 友子 (4年) 浜口 輝夫 (10年)	
Contrabass	松井 あずさ (9年)	
Percussion	大西 収	賛助出演
司会	吉田 恵実	賛助出演
写真・映像	米田 哲也	賛助出演